

歴史の敗北者として謎多き比企氏の実態を学術的な観点から堅実に探る

比企氏の乱 実史

永井晋

元金沢文庫主任学芸員
現在関東学院大学客員教授

鎌倉幕府設立の立役者の一人として、そして二代目将軍頼家の外戚として権勢を振るった比企氏。しかしのちに執権となる北条氏との権力争いに破れ族滅の道を辿ることになる。

将軍に次ぐ権力者がなぜ破れたのか。そもそも武蔵国の一地方豪族だった比企氏がなぜ頼朝の忠臣として重用されたのか。

中世政治史研究として名高い永井晋氏が、数多くの古文書を渉猟し、中世当時の政治的状況を鑑みながら、比企氏の実態を赤裸々に記す。

本書は、比企氏研究の新たな課題を提示する書籍である。

本書特色

- ◎京の貴族から武家政権へと移る複雑な政治情勢
- ◎院・天皇、公家、武士など当時の各主要人物の動向
- ◎比企氏自体の実際の勢力規模これら様々な要素を、近年の研究を踏まえ俯瞰的に捉え、中世史の新側面を描き出す。

地域歴史

本書目次構成

- はじめに
- 第一章 治承寿永の内乱
- 第二章 源頼朝の時代
- 第三章 源頼家政権
- 第四章 比企氏の乱
- 第五章 比企氏の乱後の比企氏

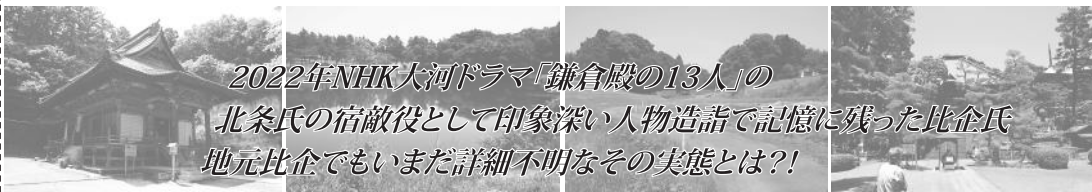
定価(本体1600円+税)
四六判・並製本・本文182頁
ISBN 978-4-89623-186-1

主要著書

『鎌倉幕府の転換点—『吾妻鏡』を読み直す』(日本放送出版協会)、『金沢貞顕』(吉川弘文館)、『金沢北条氏の研究』(八木書房)、『源頼政と木曾義仲—勝者になれなかった源氏』(中公新書)、『平氏が語る源平争乱』(吉川弘文館)、『八条院の世界』(山川出版社)、『鎌倉幕府はなぜ滅びたのか』(吉川弘文館)

著者略歴

1959年生まれ。
國學院大学大学院博士課程後期中退。
國學院大学博士(歴史学)。
神奈川県立金沢文庫主任学芸員・
神奈川県立歴史博物館企画普及課長を
経て、現在関東学院大学客員教授。



申込書

比企氏の乱 実史

永井晋

定価
(本体1,600円+税)
978-4-89623-186-1

注文数 冊

お名前

電話番号

書店名

まつやま書房 ☎ 0493-22-4162
Fax 0493-22-4460
〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5

問い合わせ先 **まつやま書房**

〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5
Tel.0493-22-4162 Fax.0493-22-4460

<http://www.matsuyama-syobou.com/>